

令和 3 年 度
決 算 報 告 書

令和 3 年 4 月 1 日から
令和 4 年 3 月 3 1 日まで

1. 貸 借 対 照 表
2. 正 味 財 産 増 減 計 算 書
3. 財 務 諸 表 に 対 す る 注 記
4. 附 属 明 細 書
5. 財 産 目 録
6. 収 支 計 算 書
7. 収 支 計 算 書 に 対 す る 注 記

公益財団法人 能村膜構造技術振興財団

1. 貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	19,990,549	21,281,526	△1,290,977
有価証券	0	0	0
流動資産合計	19,990,549	21,281,526	△1,290,977
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	886,666,165	836,869,346	49,796,819
有価証券	0	0	0
普通預金	631,400	50,631,400	△50,000,000
基本財産合計	887,297,565	887,500,746	△203,181
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
固定資産合計	887,297,565	887,500,746	△203,181
資産合計	907,288,114	908,782,272	△1,494,158
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	17,055	0	17,055
流動負債合計	17,055	0	17,055
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	17,055	0	17,055
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	887,297,565	887,500,746	△203,181
(うち基本財産への充当額)	(887,297,565)	(887,500,746)	△203,181
(うち特定資産への充当額)	—	—	
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	19,973,494	21,281,526	△1,308,032
(うち基本財産への充当額)	—	—	
(うち特定資産への充当額)	—	—	
正味財産合計	907,271,059	908,782,272	△1,511,213
負債及び正味財産合計	907,288,114	908,782,272	△1,494,158

注) 当財団法人は、一種類の公益目的事業のみを行っており、貸借対照表に会計区分は設けていない。

2. (1) 正味財産増減計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	(24,034,171)	(23,552,731)	(481,440)
基本財産受取利息	4,751,331	4,148,451	602,880
基本財産受取配当金	19,282,840	19,279,280	3,560
基本財産その他運用益	0	125,000	△125,000
②受取寄附金	(0)	(0)	(0)
受取寄附金	0	0	0
③雑収益	(1,175)	(765)	(410)
受取利息	1,175	765	410
経常収益計	24,035,346	23,553,496	481,850
(2) 経常費用			
①事業費	(24,001,910)	(22,045,455)	(1,956,455)
研究助成費	18,740,000	18,000,000	740,000
奨学金	3,600,000	1,260,000	2,340,000
会議費	98,010	89,540	8,470
通信費	0	0	0
選考委員報酬	278,425	278,425	0
旅費交通費	444,820	96,760	348,060
消耗品費	0	0	0
雑費	33,235	13,310	19,925
事務賃借料	400,008	1,900,008	△1,500,000
賃借料	407,412	407,412	0
②管理費	(1,341,468)	(701,560)	(639,908)
理事会務費	624,010	225,432	398,578
会務費	17,424	9,559	7,865
通信費	11,856	11,856	0
報酬	334,110	55,685	278,425
旅費交通費	0	40,340	△40,340
什器備品費	0	0	0
消耗品費	0	0	0
り入代	0	0	0
新聞図書費	0	0	0
賃借料	203,700	203,700	0
印刷製本費	0	0	0
雑費	150,368	154,988	△4,620
経常費用計	25,343,378	22,747,015	2,596,363
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,308,032	806,481	△2,114,513
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,308,032	806,481	△2,114,513
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	—	—	—
(2) 経常外費用			
経常外費用計	—	—	—
当期経常外増減額	—	—	—
当期一般正味財産増減額	△1,308,032	806,481	△2,114,513
一般正味財産期首残高	21,281,526	20,475,045	806,481
一般正味財産期末残高	19,973,494	21,281,526	△1,308,032
II 指定正味財産増減の部			
基本財産（投資有価証券）評価損益	△203,181	1,196,000	△1,399,181
当期指定正味財産増減額	△203,181	1,196,000	△1,399,181
指定正味財産期首残高	887,500,746	886,304,746	1,196,000
指定正味財産期末残高	887,297,565	887,500,746	△203,181
III 正味財産期末残高	907,271,059	908,782,272	△1,511,213

2. (2) 正味財産増減計算書内訳表

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	(17,521,150)	(6,513,021)	(24,034,171)
基本財産受取利息	3,088,366	1,662,965	4,751,331
基本財産受取配当金	14,432,784	4,850,056	19,282,840
基本財産その他運用益	0	0	0
②受取寄附金	(0)	(0)	(0)
受取寄附金	0	0	0
③雑収益	(1,175)	(0)	(1,175)
受取利息	1,175	0	1,175
経常収益計	17,522,325	6,513,021	24,035,346
(2) 経常費用			
①事業費	(24,001,910)		(24,001,910)
研究助成費	18,740,000		18,740,000
奨学費	3,600,000		3,600,000
会議費	98,010		98,010
通信費	0		0
役員報酬	278,425		278,425
旅費交通費	444,820		444,820
消耗品費	0		0
雑費	33,235		33,235
賃借料	400,008		400,008
事務費	407,412		407,412
②管理費		(1,341,468)	(1,341,468)
事務費		624,010	624,010
会議費		17,424	17,424
通信費		11,856	11,856
報酬		334,110	334,110
旅費交通費		0	0
什器備品費		0	0
消耗品費		0	0
リース代		0	0
新聞図書費		0	0
賃借料		203,700	203,700
印刷製本費		0	0
雑費		150,368	150,368
経常費用計	24,001,910	1,341,468	25,343,378
評価損益等調整前当期経常増減額	△6,479,585	5,171,553	△1,308,032
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△6,479,585	5,171,553	△1,308,032
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	—	—	—
(2) 経常外費用			
経常外費用計	—	—	—
当期経常外増減額	—	—	—
当期一般正味財産増減額	△6,479,585	5,171,553	△1,308,032
一般正味財産期首残高	—	—	21,281,526
一般正味財産期末残高	—	—	19,973,494
II 指定正味財産増減の部			
基本財産(投資有価証券)評価損益	△109,936	△93,245	△203,181
当期指定正味財産増減額	△109,936	△93,245	△203,181
指定正味財産期首残高	—	—	887,500,746
指定正味財産期末残高	—	—	887,297,565
III 正味財産期末残高	—	—	907,271,059

(注) 当財団は、貸借対照表を公益目的事業会計と法人会計に区分していないため、一般正味財産期首残高及び一般正味財産期末残高、指定正味財産期首残高及び指定正味財産期末残高並びに正味財産期末残高については、合計欄に記載している。

3. 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・移動平均法による原価法

その他の有価証券

時価のあるもの・・・決算日の市場価格等に基づく時価法

(売却原価は移動平均法により算出)

時価のないもの・・・移動平均法による原価法

(2) リース取引の処理方法について

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・

リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理による。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(特定資産は該当なし)

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	836,869,346	49,796,819	0	886,666,165
有価証券	0	0	0	0
普通預金	50,631,400	0	50,000,000	631,400
合計	887,500,746	49,796,819	50,000,000	887,297,565

注) 投資有価証券の当期増加額 49,796,819円は、投資有価証券の購入及び時価評価による。

普通預金の当期減少額 50,000,000円は、投資有価証券の購入による。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。(特定資産は該当なし)

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	886,666,165	(886,666,165)	—	—
普通預金	631,400	(631,400)	—	—
合計	887,297,565	(887,297,565)	—	—

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
ザ・ゴールド・マンサックス パワーリバースデュアル債	50,000,000	48,095,700	△ 1,904,300
ザ・ゴールド・マンサックス 8293	100,000,000	93,110,000	△ 6,890,000
ノムラシルフリミテッド	49,650,000	49,950,000	300,000
合計	199,650,000	191,155,700	△ 8,494,300

4. 附属明細書

1、基本財産及び特定資産の明細

「3. 財務諸表に対する注記」の「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」及び「3. 基本財産及び特定資産の財源等 の内訳」に記載している。

2、引当金の明細

該当事項ありません。

5. 財産目録

令和4年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
流動資産	預金	普通預金 三井住友銀行備後町支店	運転資金として	19,990,549
流動資産合計				19,990,549
固定資産	投資有価証券	SMA/ ラップ 野村SMA	運用益を、公益目的事業(67%) 及び管理業務(33%)に使用してい る共用財産である	50,256,552
基本財産	投資有価証券	円建債券 ザゴールドマンサックス パワーリバ デュアル債		50,000,000
	投資有価証券	SMA/ ラップ 日興ファンドラップ	運用益を、公益目的事業(65%) 及び管理業務(35%)に使用してい る共用財産である	49,880,267
	投資有価証券	円建債券 ザゴールドマンサックス 8293		100,000,000
	投資有価証券	円建債券 ノムラシルプリミティブ 50243		49,650,000
	投資有価証券	国内投資証券 グローバル・ワン不動産投資 法人	運用益を、公益目的事業(60%) 及び管理業務(40%)に使用してい る共用財産である	4,484,000
	預金	普通預金 三井住友銀行備後町支店	運用益を、公益目的事業に使用し ている	631,400
	投資有価証券	太陽工業株式会社 株式		417,678,660
	投資有価証券	太陽グループ株式会社 株式	運用益を、公益目的事業(75%) 及 び管理業務(25%)に使用している共 用財産である	164,716,686
固定資産合計				887,297,565
資産合計				907,288,114
流動負債	預り金	理事・監事3名	源泉所得税	17,055
流動負債合計				17,055
負債合計				17,055
正味財産				907,271,059

(内部管理事項)

6. 収支計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	(23,510,000)	(24,034,171)	(524,171)	
基本財産利息収入	4,250,000	4,751,331	501,331	
基本財産配当金収入	19,260,000	19,282,840	22,840	
基本財産その他運用収入	0	0	0	
(2) 寄附金収入	(0)	(0)	(0)	
寄附金収入	0	0	0	
(3) 雑収入	(1,000)	(1,175)	(175)	
利息収入	1,000	1,175	175	
事業活動収入合計	23,511,000	24,035,346	524,346	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	(24,280,000)	(24,001,910)	(314,490)	
研究助成費支出	18,000,000	18,740,000	740,000	
奨学金	3,600,000	3,600,000	0	
会議費支出	150,000	98,010	△51,990	
通信費支出	30,000	0	△30,000	
選考委員報酬	400,000	278,425	△121,575	
旅費交通費支出	600,000	444,820	△155,180	
消耗品費支出	0	0	0	
雑費支出	100,000	33,235	△66,765	
事務費支出	1,000,000	400,008	△599,992	
賃借料支出	400,000	407,412	7,412	
(2) 管理費支出	(2,750,000)	(1,341,468)	(△1,408,532)	
事務費支出	1,300,000	624,010	△675,990	
会議費支出	100,000	17,424	△82,576	
通信費支出	50,000	11,856	△38,144	
報酬	200,000	334,110	134,110	
旅費交通費支出	450,000	0	△450,000	
什器備品費支出	0	0	0	
消耗品費支出	50,000	0	△50,000	
リース代支出	0	0	0	
新聞図書費支出	0	0	0	
賃借料支出	200,000	203,700	3,700	
印刷製本費支出	0	0	0	
雑費支出	400,000	150,368	△249,632	
事業活動支出計	27,030,000	25,343,378	△1,686,622	
事業活動収支差額	△ 3,519,000	△ 1,308,032	2,210,968	
II 投資活動収支の部	—	—	—	
III 財務活動収支の部	—	—	—	
IV 予備費支出	—	—	—	
当期収支差額	△ 3,519,000	△ 1,308,032	2,210,968	
前期繰越収支差額	21,291,000	21,281,526	△ 9,474	
次期繰越収支差額	17,772,000	19,973,494	2,201,494	

7. 収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金及び流動資産に計上している有価証券を含めている。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
流動資産		
現金・預金	21,281,526	19,990,549
有価証券	0	0
合 計	21,281,526	19,990,549
流動負債		
預り金	0	17,055
合 計	0	17,055
次期繰越収支差額	21,281,526	19,973,494